

聖書研究 第二十七課 神の金銭、私たちの責任

金銭、そして私たちがどのようにそれを使うかは、神にとって重要であるのと同じように、私たちにとっても重要です。箴言の中には、他のどんな主題よりも多く金銭について書かれています。私たちの人生において、それは祝福となるし、またはわなとなりうるということが分かります。そして、この人生で、それを如何に用いるかを決定するのは、それに対する私たちの態度にかかっています。

1. 私たち、私たちの所有物、そして地は、どなたに属していますか？ 詩編 24 : 1, 2

2. どなたが私たちに富を得る能力をお与えになりますか？ 申命 8 : 18 ; 歴代上 29 : 12

3. 私たちの金銭に対する態度について、神は何を警告しておられますか？ 箴言 11 : 28 ; 詩編 49 : 16-20 ; ルカ 12 : 15-21 ; I テモテ 6 : 17-19

注：私たちの全ての金銭と所有物は、神に属し、そして私たちにそれをお与えになるのは神です。神は、私たちが自分にではなく、必要を供給してくださる神に頼ることを望んでおられます。

4. どのように誘惑されて金銭がわなに成り得るのでしょうか？ どんな方法で？ I テモテ 6 : 6-10

注：私たちの人生において、金銭を得ようとして、それ以外のことは考えようとしない罠に陥ることはたやすいのです。多くの人々は、金銭がまるでこの世で最も重要な関心事であるかのように生きています。そしてついに、他の全てのこと、特に私たちの信仰と神への信頼を締め出してしまいます。これは私たちが警戒しなければならない事の一つです。

5. 神はこの問題について、どのように私たちに話しておられますか？ ルカ 12 : 22-34

6. 他の人に関連して、私たちの金銭に対する態度はどうあるべきですか？

箴言 11 : 25, 26 ; ルカ 6 : 38

注：世は、出来るだけたくさん、それにしがみつこうとといいます、しかし神は、所有物、時間そしてエネルギーを惜しげなく与える人たちを祝福してくださいます。私たちが与える時、神はそれ以上補ってくださるので、私たちはもっと与えることができます。その上、所

有物に対する正しい見解を得るように助けてくださいます。私たちは、それらはそもそも、実際は私たちのものではなく、常に他の人のために用いられるために、神から与えられたということを知ります。

7. 私たちは、将来のためにたくわえるべきですか？ 箴言 21 : 20

8. 他人のために保証することはどうですか？ 箴言 17 : 18 ; 22 : 26, 27

9. 私たちに求める人たちに、貸すべきですか？ ルカ 6 : 34, 35 ;
申命 15 : 7, 8, 10, 11

注：私たちが、他人にお金を与えることにしたとき、貸すのではなく、贈り物として考えられるべきです。それゆえ、返済のない場合、私たちにそのような贈り物をする余裕があることを確かめるべきです。

10. 神との関わりにおいて、金銭に対する私たちの態度はどうあるべきですか？
詩編 96 : 8 ; 箴言 3 : 9, 10

注：「初なり＝初穂」は収穫物の最初の、最良の部分を、神の用途のためにお捧げする行為を表しています。(申命 26 : 9-11) 多くの人々は、神に彼らの残り物をささげます。もし彼らに何か提供する余裕があるなら、彼らはそうします。これらの人々は、誠実な、快く寄付する人たちであるかも知れませんが、彼らの態度は、それでもなお積極性に欠けています。私たちは、収入の第一の部分を神にささげなければなりません。これは、私たちの生活の中で、持ち物ではなく、神が第一に置くことを、そして私たちの財産は彼に属していて、私たちは神の財産の管理者にすぎないことを表明しています。第一のものを神におささげすることは、私たちが貪欲に打ち勝ち、神の財産を正しく管理するのを助け、そして神の特別な祝福を受ける道を開くのです。

11. 「初穂」を、神は、いくらであるとお考えですか？ 申命 14 : 22, 23

12. もし私たちが、彼に什一をお返しするなら、神は何を約束しておられますか？
マラキ 3 : 6-10

注：マラキの時代の人々は、神の命令である彼らの収入の什一を、神の宮にお捧げすることを無視しました。彼らを得るために、一生懸命に働いたものを失うことを恐れたのかもしれませんが、これについて、彼らは神を誤って判断しました。「与えよ、そうすれば、自分にも与えられるであろう」とルカ 6 : 38 に彼は言うておられます。私たちが与える時、神の約束している祝福は、常に物質的なものであるとはかぎりませんが、彼は常に彼の言葉を守られ

るということ覚えなければなりません。

13. 古代イスラエルの時代に、どんな目的のために什一は用いられるはずでしたか？

民数 18 : 21, 23, 24

注：ヨシヤが約束の地にイスラエル人を導き入れた時、各部族には、その相続財産として地所の分け前が与えられました。レビ族だけは例外でした。彼らは、祭司として、彼らの全時間を、主に仕えるために費やすことになっていました。彼らには耕作するための土地は与えられず、住むための町だけが与えられました。他の十一部族は、彼らの収入の十分の一または農産物を、神の働きをするレビ人を支えるために与えました。

14. 聖書によれば、今日、聖職者はどのように支えられることになっていますか？

1 コリント 9 : 13, 14

注：私たちが什一を捧げる時、私たちは聖職者を支えて、キリストの福音を進めることが出来るのです。これをもって、私たちは生活の中で神と御業をあげているのです。

15. 神は、あなたとあなたの家族に、どんな特別な約束をしておられますか？

ピリピ 4 : 19

結論：金銭は全ての悪の根ではなく、金銭を愛することが悪なのです。金銭は私たち全てのものが生活において必要なものです。そして、神は、私たちが他の人に対する祝福のチャンネルになれるように、金銭で祝福してくださいます。そして、私たちの心から、資金が惜しげなく流れる時、そのように、神の祝福が私たちに惜しげなく流れ、そして私たちを通して流れるでしょう。

二十七課の答えとなる鍵

質問 1. 主。

質問 2. 神。

質問 3. 私たちの信頼を金銭に置いてはなりません。

質問 4. 他の全てのもの以上に、金銭を追い求めること。

質問 5. あなたの信頼を神に置きなさい、そうすれば彼はあなたのために与えて下さるでしょう。

質問 6. 金銭をため込むことはしないで、気前よく与えなさい。

質問 7. はい。

質問 8. それに対して、聖書は警告しています。

質問 9. 貸さないで、あなたができるだけのを、むしろ、贈り物として与えなさい。

質問 10. 初穂を神に捧げなさい。

質問 11. 最初の 10 %

質問 12. 彼はあなたを祝福なさるでしょう。

質問 13. レビ人の祭司を支えるため。

質問 14. 神のみ業のために、教会に捧げられた什一と諸献金によって。

質問 15. 神はあなたの全ての必要を満たして下さいます。